

平成5年度園芸相談集計記録

井上尚子

平成5年度の受付件数は、2,611件で、その集計結果を表1、2と図1～4に示した。

月別の相談件数は、4月と11月をピークに、春と秋に集中している。受付方法は、ほとんど電話である。「その他」は、関係機関のイベントでの出張園芸相談の件数を記した。植物別に見ると、草花や花木・果樹の相談が40%近く占めている。また、作業別に見ると植物の管理の問い合わせが30.3%と圧倒的に多い。つまりこれらが主要な相談内容だといえる。しかし一方で、どちらの見方をした場合も「その他」に含まれる相談が、27.1%又は26.1%と多く、内容が多岐にわたっていることが読取れる。具体的に挙げてみると、例えばカキの渋の抜き方、道路法面の緑化に向けた草花の種類、ユリの帯化、果物と野菜の区別、大賀ハスの出所等についての問い合わせなどがあつた。

特に平成5年度の園芸相談について気づいた点をいくつか述べる。まず、この年は平成6年度に広島で開催されたアジア競技大会の準備のために、アジアに関する植物の問い合わせ、特にアジア各国の国花についての問い合わせが多かった。イベントにちなんだ植物の情報を予め収集しておくことの必要性をあらためて感じさせられた。また、平成5年度は例年になく日照が少ない年だった。このことにちなみ、植物の開花時期や紅葉の時期等に異変がないかどうかの問い合わせが多かった。普段から園内の植物の見頃の時期についての問い合わせが多いことと考え合わせ、毎年きちんとした園内の植物の開花記録をとっておくことは重要だと思われる。

平成6年3月19日(土)～4月3日(日)まで世界蘭展記念第7回洋ラン特別展を開催し、展示期間中、会場内で「洋ランクリニック」を開いた。その集計結果を図5に示した。シンビジウムとデンドロビウムの相談だけで半数を越え、これらのランが圧倒的によく普及していることが読み取れる。

表1. 月別・方法別受付件数

(単位: 件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電 話	132	326	311	209	100	245	146	214	48	40	134	122	2,027
来 園	2	18	7	4	4	10	17	17	2	1	0	1	83
手 紙	8	3	6	7	2	3	1	2	1	2	0	3	38
そ の 他	227	—	—	—	—	—	53	183	—	—	—	—	463
計	369	347	324	220	106	258	217	416	51	43	134	126	2,611

表2. 月別・植物別受付件数

(単位: 件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
庭 木	18	39	44	16	13	24	11	41	10	5	20	5	246
花木・果樹	45	110	91	60	24	47	33	61	10	13	24	28	546
草 花	29	92	73	76	31	52	51	44	15	9	52	24	548
山草・野草	12	19	20	3	2	53	8	17	1	0	2	2	139
観葉植物	15	27	31	21	6	52	12	23	6	2	12	24	231
洋 ラ ン	16	26	28	14	17	13	15	17	7	4	8	28	193
そ の 他	234	34	37	30	13	17	87	213	2	10	16	15	708
計	369	347	324	220	106	258	217	416	51	43	134	126	2,611

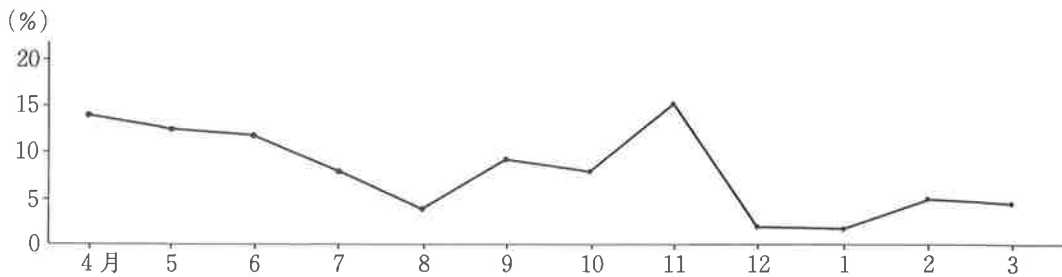


図1. 月別割合

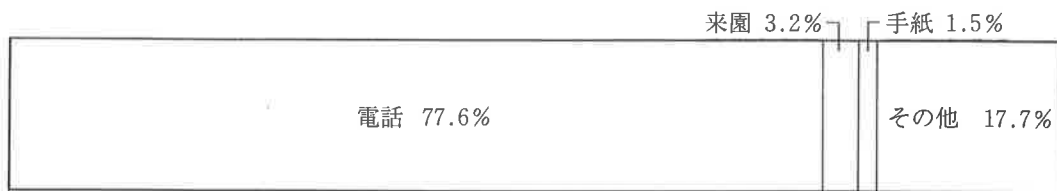


図2. 受付方法別割合

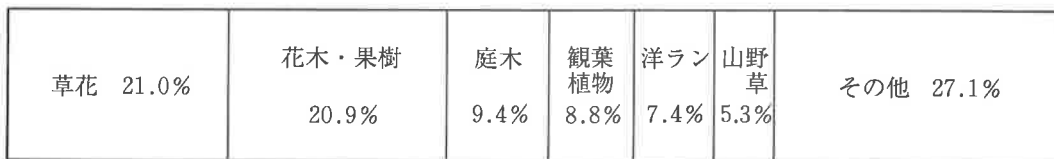


図3. 植物別割合



図4. 作業別割合

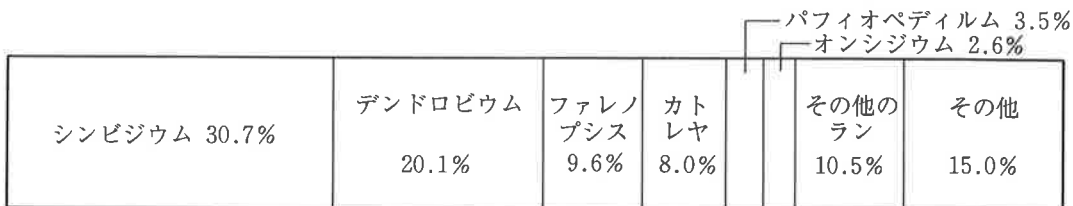


図5. 洋ランクリニック植物別割合 (総受付件数114件)